

1. 平野橋が土木遺産に認定されました！

令和元年9月、「土木学会 選奨土木遺産」に東横堀川に架かる平野橋（中央区東高麗橋～平野町1丁目）が選ばれました。



橋長：57.0m 幅員：12.7m

土木学会 選奨土木遺産とは

歴史的土木構造物の保存に資することを目的として、平成12年に認定制度が設立された。推薦および一般公募により年間20件程度が選出されている。



現在の平野橋は昭和10年(1935年)に完成した橋で、当時世界初となる逆ランガー橋という珍しい形式で架けられました。橋の意匠は、「関西近代建築の父」ともいわれた建築家 武田五一の指導のもと、デザインされました。

大阪市の管理橋梁では、これまで平野橋の他に、本町橋、天神橋、淀屋橋など7橋が「土木学会 選奨土木遺産」に認定されています。

2. 神崎橋の災害復旧工事が完了しました。

平成30年度第2号の瓦版でも被害についてお伝えしましたが、平成30年9月4日(火)に大阪市内で最大瞬間風速47.4(m/s)を記録した台風21号により、兵庫県尼崎市と大阪市淀川区を結ぶ神崎橋において、総延長約650mのうち約330mにわたって高欄が倒壊しました。

大阪市では平成7年の阪神淡路大震災以来となる公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法に基づく災害復旧事業として、国の補助を受けて高欄の復旧工事を実施しました。



▲台風により倒れてしまった高欄



▲復旧工事完了後の新しい高欄

工事は平成31年2月に開始し、令和2年1月に完了しました。新設した高欄にも倒壊前と同じデザインの装飾パネルを一部設けています。

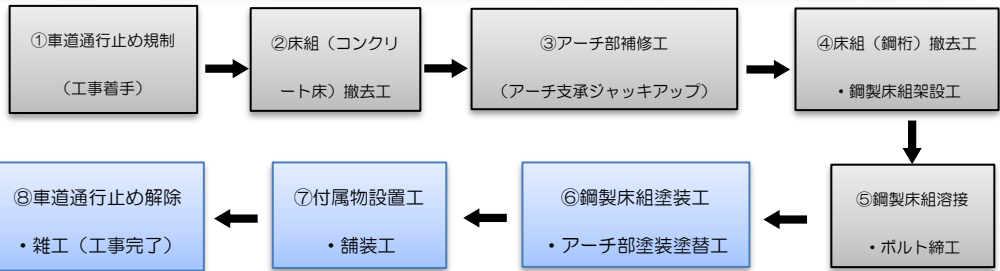
3. 堂島大橋改良事業完了報告

堂島大橋改良事業については、前号では、鋼製床組溶接・ボルト締工までを実施していることをご報告しましたが、その後の「鋼製床組塗装工、アーチ部塗装塗替工」、「付属物設置工、舗装工」を経て、令和2年2月1日午前5時に車両の通行止めを解除し、3月にはすべての工事が完了しました。

▲工事完了後全景



■工事の流れ■



令和2年2月1日
通行止め解除！



▲⑥塗装塗替の足場が組まれた様子



▲⑦付属物設置(高欄デザインの復元)

市民の皆様や関係機関のご理解・ご協力のもと、約2年間の車両通行止めを行うことで、安全かつ円滑に工事を実施することができました。

今回の工事で橋桁をスレンダーにすることにより、橋の桁下高さ(水面から橋までの高さ)を確保し、船舶の航行をしやすくするとともに、特徴的なアーチ部分の構造が強調されています。

中之島には他にも魅力的・個性的な橋が多くありますので、きれいになった堂島大橋とともに、橋を巡りながら散歩してみたいかがでしょうか。



▲⑧工事完了後の様子

4. 橋の広報活動を実施しました

令和元年 10 月、大阪市立総合生涯学習センターとの協働で、ネットワーク型市民セミナー〈なにわ八百八橋物語～橋に見る大阪の再発見〉を開催しました。当日は午前には講座、午後には現地見学を行いました。講座では大阪市内の橋の歴史や、役割、構造、現在の橋梁事業等について講演させていただき、現地見学では中之島周辺に架かる橋（淀屋橋～天満橋）を歩いて巡り、それぞれの橋の歴史や豆知識についての説明をさせていただきました。



▲現地見学の様子(天神橋)



▲講座の様子

また昨年に引き続き、趣味で橋の模型を製作されている堺市在住の吉川様にご協力いただき、吉川様が作製された千歳橋、神戸大橋(新作)の模型展示も行いました。



▲千歳橋(大阪市)の模型



▲神戸大橋(神戸市)の模型

同じく 10 月に、「生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪(通称：イケフェス大阪)」にも橋梁課として初めて参加しました。イケフェス大阪は、毎年秋の週末に大阪の魅力的な建築を一齐に無料公開する日本最大級の建築イベントです。

橋梁課では、市民セミナー同様、中之島周辺に架かる橋を歩いて巡るコースに加えて、改良工事中の堂島大橋を見学するコースを設定し、実施しました。

日頃、何気なく渡っている橋にもそれぞれ歴史や特徴があることを知っていただき、橋への興味・関心を深めていただくことができたかと思います。



▲中之島橋梁を巡るコース



▲堂島大橋(工事中)見学コース

時期や詳細は未定ですが、令和 2 年度も市民セミナー等の広報活動を実施する予定ですので、興味のある方はぜひご参加ください。

好きな橋・魅力的な橋ベスト 10

有効回答者数：45名

(一人3橋まで回答可)

令和元年10月にアンケート実施

市民セミナーに参加された皆様にご協力いただいたアンケートを基に、好きな橋・魅力的な橋のランキングを作成しました。

1位 難波橋



ライオン橋の愛称で親しまれ、風格ある装飾が特徴。現在の橋は昭和50年に架け替えられたものだが、装飾は先代のものが引き継がれている。

2位 水晶橋



もとは橋ではなく、水質浄化のための可動堰であった。かつては堰を閉めて水を貯めた後、堰を開放し、一気に水を流すことで浄化していた。

3位 淀屋橋



初代淀屋橋は江戸時代の商人の私財で架けられたといわれている。現在の橋はデザインが一般公募で決められ、昭和10年に完成した。

4位 天神橋



5位 菅原城北大橋



6位 本町橋



7位 天満橋



8位 港大橋

9位 豊里大橋

10位 戎橋

● 主な橋のより詳しい説明は大阪市 HP の「橋の紹介」をご覧ください。

掲載ページへは以下の①～③のいずれかよりアクセスできます。

① [大阪市 橋](#) で検索

② 大阪市 HP トップページ > 市政 > 方針・条例 > 主要な計画、指針・施策 > 事業別計画、指針・施策 > 川・橋 > 橋 > 橋の紹介

③ <https://www.city.osaka.lg.jp/shisei/category/3054-1-2-9-2-2-0-0-0-0.html>